

表 1 学校施設が避難所となる場合のプロセス例

	災害状況等	避難所としての機能	協力内容として考えられる例
救命避難期	(直後～) 地震・津波発生 ライフラインの途絶 地域社会の混乱 継続する余震 等	地震発生 ↓ 地域住民等の学校への避難	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の安全点検 ・開放区域の明示 ・駐車場を含む誘導 等
生命確保期	(数分後～) 消防・警察・自衛隊等の 救助開始	避難所の開設 ↓ 避難所の管理・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・名簿作成 ・関係機関への情報伝達と収集 ・水や食料等の確保 ・備蓄品の管理と仕分け、配布等 ・衛生環境整備
生活確保期	(数日後～) 近隣地域等からの 救援物資等 応急危険度判定士による安全 点検	自治組織の立ち上がり ↓ 自治組織の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・自治組織への協力 ・ボランティア等の調整 ・要援護者への協力 等
学校機能再開期	(数週間後～) 仮説住宅等への入居等	避難所機能と学校機能の同居 ↓ 避難所機能の解消と学校機能の正常化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校機能再開のための準備
		日常生活の回復	